

食農学類教員会議（第21回）議事要録

日時：令和2年6月10日(水) 13時30分～15時30分

場所：WEB会議（Zoom）

会議会場にて参加希望者のみ食農学類研究棟1階 みらいホール

【確認事項】

食農学類教員会議（第20回）議事要録について原案の通り確認した。

なお、石川尚人教務委員より、転学類の募集については、応募者がいなかった旨の補足説明があった。

【1. 審議事項】

1. 令和3年度食農学類私費外国人留学生選抜の実施体制について
牧入試委員より資料に基づき提案があり、了承された。
2. 令和2年度非常勤講師計画について
石川尚人教務委員より資料に基づき提案があり、了承された。

【2. 報告事項】

1. 運営会議（5/26、6/9）、教育研究評議会（5/19、6/2）の報告について
学類長より、各会議について報告があった。
関連して、国際教育研究拠点に関する全学のワーキンググループの構成員として、新田教授と松田教授に参加を依頼する旨の説明があった。
2. 危機対策本部会議の報告について
学類長より、危機対策本部会議について報告があった。
緊急事態宣言解除後の学生向けのガイドラインと教職員向けの前期授業期間中の対応の更新などについて報告があった。
3. 全学教務協議会の報告について
石川尚人教務委員より資料に基づき報告があった。
4. コース配属について
石川尚人教務委員より資料に基づき報告があった。
スケジュールを中心に説明があり、転コースについては、コース配属後の状況を慎重に確認してから検討したい旨の説明があった。申准教授より、臨時教員会議の必要性について質問があったが、新田教授より、学修案内に手続きが明記されていること、荒井評議員より、設置審の記載との関連でコース分けを慎重に行う必要があることの補足説明もあり、報告どおり臨時教員会議を開催して決定することが確認された。また、林准教授より、決定に際し恣意的な判断が生じないよう留意す

る必要があるとの意見があった。学類長からも、公平なルール作りの必要性について言及があった。

5. 福島イノベーション・コースト構想「復興知」について
新田教授より資料に基づき報告が行われた。
6/29 に開催される復興農学会設立記念シンポジウムへの参加依頼があった。
6. 入試広報委員会からの報告について
新田入試広報委員より資料に基づき報告があった。
申准教授より、学類 HP の教員紹介の更新依頼があり、対応が確認された。
7. 4 月以降の就職支援と今後の支援内容について
神宮字就職支援委員より資料に基づき報告があった。
8. 体験会開催について（7 月 11 , 12 日）
高田准教授より食農学類体験会の日程などについて報告があり、各教員に協力依頼があった。授業として行うものではなく、参加できない学生にも配慮することなどが確認された。
また農場に関連し、学類長より、農場管理を行っている職員の作業量について今後増加が予測されること、そのため実習以外で依頼したい作業がある際は農場運営委員会を通すよう、アナウンスがあった。
9. 発酵醸造研究所準備室特任教員 3 名の選考委員会設置について
金子評議員より資料に基づき報告があった